

宮城県感染症発生動向調査情報

令和04年10月06日発行

2022.9.26 ~ 2022.10.2 - 第39週 -

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	第36週	第37週	第38週	第39週
水痘	2 0.50				1 0.50	3 0.11	6 0.10	193				
流行性耳下腺炎		1 0.10					1 0.02	63				
感染性胃腸炎	5 1.25	20 2.00	7 1.00	9 1.13		47 1.74	88 1.52	9,113	◎	◎	◎	◎
手足口病	61 15.25	41 4.10	26 3.71	35 4.38	12 6.00	96 3.56	271 4.67	4,593	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑							0 0.00	40				
突発性発しん	1 0.25	1 0.10	2 0.29	3 0.38	1 0.50	7 0.26	15 0.26	932				
ヘルパンギーナ	4 1.00	8 0.80	5 0.71			11 0.41	28 0.48	775	◎	◎	○	レ
インフルエンザ							0 0.00	19				
咽頭結膜熱							0 0.00	252				
流行性角結膜炎							0 0.00	73				
急性出血性結膜炎							0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1 0.10	1 0.14	4 0.50		1 0.04	7 0.12	476				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0 0.00	5				
無菌性髄膜炎							0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎							0 0.00	18				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0 0.00	0				
RSウイルス感染症	11 2.75	15 1.50	6 0.86	1 0.13		60 2.22	93 1.60	787	◎	◎	◎	◎
感染症胃腸炎(ロタウイルス)							0 0.00	1				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)								◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向			
	川崎病											
	不明発疹症					2						

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 女性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症

塩釜管内 女性1名(O103, 第35週)
石巻管内 男性1名(O26), 男性1名(O157)
大崎管内 男性1名(O157, 第31週)
気仙沼管内 男性1名(O121, 第38週)
女性1名(O121, 第38週)
女児1名*(O121, 第38週)
仙台管内 女性2名(O157)

4類感染症: レジオネラ症

塩釜管内 女性1名
仙台管内 女性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名(第38週)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 女性1名(*Klebsiella aerogenes*, 第38週)
クロイツフェルト・ヤコブ病
塩釜管内 女性1名(第37週)
梅毒
塩釜管内 男性1名(第32週), 女性1名
大崎管内 男性1名(第37週)
仙台管内 男性1名, 女性1名(第38週)

新型インフルエンザ等感染症: 新型コロナウイルス感染症(患者総数)

宮城県(仙台市を除く) 2,579名
仙台市 2,715名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]

仙南, 塩釜, 大崎, 石巻, 気仙沼, 仙台管内で、警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

~宮城県保健環境センター~

新型コロナウイルス感染症患者より

塩釜管内 第39週採取分 SARS-CoV-2 15件
気仙沼管内 第39週採取分 SARS-CoV-2 1件

手足口病患者より

仙南管内 第39週採取分 コクサッキーウイルスA6型 4件

~仙台医療センターウイルスセンター~

	確定	中間報告	
	第36週採取分 (9.5~9.11)	第37週採取分 (9.12~9.18)	第38週採取分 (9.19~9.25)
RSウイルス	5件	1件	3件
ヒメニューモウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	4件	4件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス(解析中)	1件	1件	2件

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

県内では、第26週以降、腸管出血性大腸菌感染症の発生が続いています。第26週以降に確認された患者は55名で、昨年の同期間の1.6倍となっています。主な症状は腹痛、下痢ですが、小児や高齢者など抵抗力が落ちている人では溶血性尿毒症候群(HUS)を引き起こし重症化することがあるため注意が必要です。食品の十分な加熱、手洗いや消毒を適切に実施し、予防対策に努めてください。

【手足口病】

県内の定点医療機関からの患者報告数は、先週の332名から271名となり3週連続で減少しています。しかし、仙南管内では先週より増加しており、依然として県内全域で警報レベルを継続しています。

引き続き今後の動向に注視するとともに、家庭内のほか、学校・保育園等の集団生活での感染に特に注意してください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

